

磁気を用いた非接触の動力伝達装置を実用化

産学連携と、独自に開発した磁気歯形状及び、着磁技術で歯車等の伝達機構の非接触化を実現。「無発塵」「メンテナンスフリー」「低騒音・低振動」に寄与。

歯車等の伝達機構を非接触で実現

歯車等の伝達機構を非接触で実現することは、技術者にとっての長年の夢であった。一方、原理的にその存在は知られていたが、今まで市場でお目にかかったことが無かったのが、磁気式歯車装置であった。株式会社松栄工機では、同社の精密加工技術をベースに、産学連携により非接触の磁気式歯車装置の実用化を、世に先駆け達成した。



垂直軸タイプ



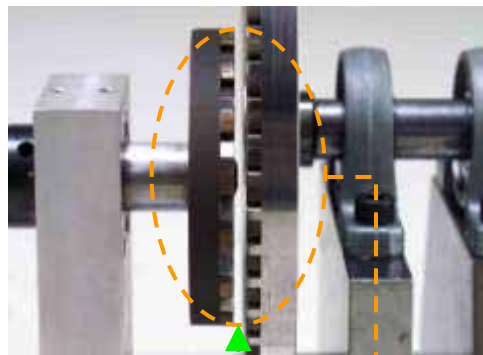
水平軸タイプ

壁を介した動力伝達が可能

非接触磁気式歯車装置は、動力を伝達するための歯車が接触していないため、歯車が噛み合うことによる発塵がなく、クリーンルームなどのクリーン環境下での動力伝達に適している。また、壁を介した動力伝達が可能となるため、食料品等の攪拌機の動力伝達用としての利用にも適している。非接触磁気式歯車装置は、今後、様々な用途での利用が見込まれている。

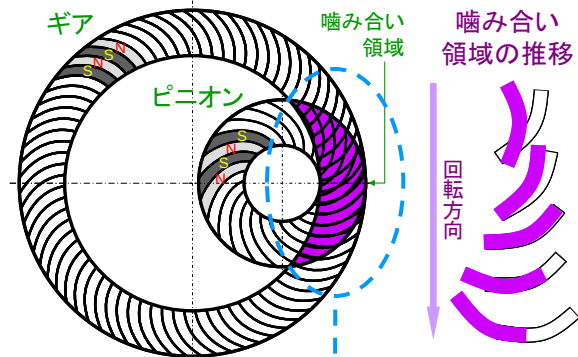
産学連携で創造開発型製品を送り出す企業を目指す

同社は、産学連携（東北学院大、工学研究科鶴本研究室）により、既存の技術に捉われない新たなシーズを開拓し、創造開発型製品を送り出す企業を目指している。



2つの歯車を対抗位置に隙間を空けて配置

ヨーク上に磁気歯を配置



N極・S極が引き合う噛み合い領域で動力を伝達



株式会社松栄工機

宮城県 大崎市松山町次橋字新千刈田 117

1978 年（昭和 53 年）設立

TEL 0229-55-3375

<http://www.shoei-eng.co.jp>



代表取締役 小林 敬